

第12回会議時点の計画素案から以下の内容を変更・追記（【 】内は資料6のページ数を記載）

## 第2章 アルコール健康障害を巡る都の現状

### 2 飲酒の状況【4,5ページ】

（3）妊娠中の飲酒の状況、（4）20歳未満の者の飲酒の状況 を追記

### 4 東京都の飲酒問題に関する調査について【9-11ページ】

調査結果の一部を掲載

## 第4章 基本的な考え方

### 3 取組を進める上での視点、重点課題及び目標【21,22ページ】

#### （1）アルコール健康障害の発生を予防

- ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減少 **男性12%以下、女性8%以下**
- ・20歳未満の者の飲酒及び妊娠中の飲酒をなくす

#### （2）相談、治療、回復支援の体制整備

- ・依存症専門医療機関（アルコール健康障害）を15か所以上に拡充
- ・アルコール依存症への正しい知識・理解を持つ者の割合の継続的向上  
**< 依存症に関する研修の修了者数：5年間で1,800人以上 >**
- ・アルコール健康障害事例の継続的な減少

#### （3）アルコール健康障害の当事者及びその家族への支援

- ・都が開催する連携会議や研修において、全62区市町村の関連部署（児童福祉部門をはじめとした家族支援に関する部門）の参加

## 第5章 具体的な取組

### 1 教育の振興等

<アルコール健康障害に関する正しい知識の普及啓発等の取組> 【32ページ】

都民向けのシンポジウムを開催し、アルコール依存症、飲酒に伴うリスクやアルコール関連問題についての正しい知識の普及を図ります。

6 アルコール依存症の当事者及びその家族に対する相談支援等 【37ページ】

8 民間団体の活動に対する支援 【39ページ】（再掲）

アルコール関連問題啓発週間等の機会を通じ、特別相談会の実施など、民間団体と連携した取組を推進します。

## コラム 知ってほしいお酒のこと

Q8 飲酒量と健康のリスクにはどのような関係がありますか？

「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」から引用する形で、各疾病ごとの発症リスクを高める飲酒量も含め、飲酒量と健康のリスクに関する説明を記載

### <参考>

○第12回推進委員会における委員意見

飲酒量と健康の関係については、世界的な趨勢としては少ない方がいいとなっており、飲酒量の設定については、国の中でも統一されていない状況であることから、書き方の工夫をする必要がある。

○パブリックコメント

アルコールと乳がんの罹患率について記載を求める